

令和4年度 学校評価に関するアンケート項目一覧、および結果のまとめ

領域	アンケート項目	結果のまとめ
1 学校経営	単位制の良さを活かし、特色ある学校経営を行っている。	単位制の夜間定時制としての特色と役割を様々な場面で積極的に発信し、教育活動の振り返りを常に実施しながら、理解と協力を得て教育目標達成に取り組む。
	教育方針や教育目標に基づき、効果的な教育活動を展開している。	
2 学習指導	基礎・基本の定着を目標に授業に取り組んでいる。	肯定的な結果であるが、基礎学力が十分に定着していない生徒が多い。別途実施した生徒授業アンケート結果を含めて、基礎・基本を大切にしたい授業や、日常生活に結びつく学習内容など生徒の興味関心をさらに引き出せるような工夫ある授業の構築を継続する。
	授業内容を工夫し、生徒をひきつける、わかりやすい授業の展開に努めている。	
3 生徒指導	生徒や保護者の悩みや相談に親身に対応している。	概ね肯定的な結果となったのは、生徒個々の特性に応じた指導と丁寧な保護者対応ができたためだと考えられる。生徒の情報交換会を活用し、校外の関連機関や地域とも連携し、社会全体で生徒を育成する姿勢で臨む。
	いじめの未然防止と早期発見に努め、適切な指導を行っている。	
4 進路指導	生徒一人ひとりの進路実現に努めている。	望ましい職業観・勤労観を育成するため、外部講師を招いて進路ガイダンスを実施した。今後も働くことの、意義・目的を生徒各自が主体的に考えながら学習し、就労意欲の喚起するような教育活動に努めたい。
	望ましい勤労観、職業観などの育成に努めている。	
5 特別活動等	豊かな人間性の育成を目指した特別活動に取り組んでいる。	学校行事等を通して、仲間作り、自治能力、社会性の涵養を目指して指導をしてきた。今後も社会性が身に付き、豊かな人間性が育むように、特別活動の指導内容と指導方法の検討が必要と思われる。
	社会性を身につける教育活動に取り組んでいる。	
6 学校図書館	学校図書館が利用しやすいように工夫している。	昨年度に比べて、環境整備が進み、教員、生徒の評価が大幅に改善した。今後は、生徒会図書委員の活動も十分に行い、生徒参加型の魅力的な図書館づくりをめざす。
	新着情報の案内など、読書に親しむ指導に努めている。	
7 保健・安全指導	心身の健全な発達を正しく理解させると共に、自己の体力・能力を伸長する指導に努めている。	感染症対策については、日々継続して取り組み、成果をあげた。今後は、生徒自身で健康管理の意識が高まるような指導をめざす。心身の健全な発達のために、今後もスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携が必要である。
	生徒の事故・怪我・病気等への対応を適切に行っている。	
8 人権教育	すべての人の人権を尊重する観点で教育活動を行っている。	人権統一LHRや人権映画鑑賞では、テーマを設定して生徒の心に訴える学習を目指し、生徒の人権意識が高まるように指導をしてきた。今後もさらに生徒の生き方に響くような教育活動を継続していく。
	LHRなどを活用し、人権意識を高める指導に努めている。	
9 環境教育	ゴミの分別をはじめとした環境教育に取り組んでいる。	2年ぶりに琵琶湖岸の一斉清掃に取り組んだが、環境について学習する場面設定がまだ十分ではなく、評価が低い。今後は、環境問題に対して意識が高まるよう、各授業で環境をテーマとした内容を工夫していく。
	教科学習の中に適切に環境学習を取り入れ、環境問題の啓発に努めている。	
10 事務・管理	文書管理を適切に行っている。	セキュリティ対策を第一に、複数でのチェック体制で文書管理を行っている。また、施設や設備の安全点検については、消防署や産業医の助言も適切に管理し、改善を図っている。
	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	
11 その他 学校の取り組み	生徒一人ひとりの個に応じた対応・指導に取り組んでいる。	一人ひとりの生徒理解と全教員が共通した指導を丁寧に粘り強く指導することにより、不登校生徒の改善率は高い。増加傾向にある外国にルーツを持つ生徒に対する指導について今後、より充実したものにしていく。
	全教職員が積極的に生徒を把握し、学校全体で指導に取り組んでいる。	